

1 審議会名	上田城南地域協議会
2 日時	令和2年2月20日 午前10時00分から午後11時30分まで
3 会場	城南公民館 多目的ホール
4 出席者	相田委員、井出委員、小野澤委員、小林委員、新谷委員、関委員、竹内委員、 田玉委員、中澤委員、中村恵美子委員、根橋委員、羽田委員、増澤委員、宮澤委員、 柳澤委員、矢野委員、若林委員、渡辺委員
5 市側出席者	【事務局】村山城南地域振興政策幹、内藤地域内分権推進担当係長、西澤地域担当 主査、片山地域内分権推進担当主査
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和2年3月12日
協 議 事 項 等	
1 開会	
2 会長あいさつ	
3 会議事項	(1)第二次上田市総合計画「地域の特性と発展の方向性」の見直しについて 事務局より、資料を基に説明（地域の特性と発展の方個性 素案シート【答申案】）
	以下、意見
	(会長) 地域の特性と発展の方向性に関して意見をいただきたい。
	(委員) 6の「上田道と川の駅」の関係だが、防災倉庫、ヘリポートなど防災機能を備えたという文言だが、 防災倉庫は具体的にどのような機能を持ったものか。
	(事務局) 危機管理防災課に確認をしたところ、国交省の管理のため、市の方では承知をしていないという 回答であった。
	(委員) 日常生活の物品ではないと想像した。台風19号では一次避難所の開設で課題になったのが物品の 備蓄。それぞれの避難場所等に物品を備えておくということは難しいことから、道と川の駅の防災倉庫に備 えたいということとはできないということか。
	(事務局) 生活レベルの物品ではないということが想像される。市の防災計画の中でも、市としての防災拠 点とはなっていない。
	(委員) 現状は特性とは言えないのではないか。
	(事務局) 避難所に対する支援と考えると、それとは違うのかもしれない。

(委員) 防災ヘリがあるので、色々なものがあるのかと思うが、そのような事ではないということか。

(事務局) 皆さんの想像する防災倉庫とは違うのかもしれない。

(委員) 国と県、市町村とも上手く連携されていていないのではないかと。今後、毛布など使えるものがあれば自治会の方に提供してほしいなど意見が出てくると思う。市では拠点として位置付けていない。住民が利用できるということが本来の役目であると思う。

(委員) 地域の特徴としてこの様な基盤があるので今後、利用できるように対応していく。市の防災計画でも位置付けていただいて、行政とも連携を取っていただく。

(事務局) 今後、見直されていくと考える。

(委員) 全体計画の中でも地域防災の項目がある。そこと連動させる。いくら地域で特性があると思いを込めても意味がない。国や県の防災計画に入れていただくことを強くお願いしたい。

(会長) 参考までに、岩鼻の上の方にライブカメラがあり、自動で操作でき見たい場面を見ることが出来る。昨年の洪水の時に、ライブカメラで水かさが増えてきたことを確認し、避難したという方もいた。そのような面では防災の役目もあるかと思う。

(委員) わがまち魅力アップ応援事業で検討した事業か。

(事務局) わがまち魅力アップ応援事業の補助金は利用せず、独自で行った事業である。

(会長) 取り組みの方向性の赤字修正のある1番～4番、6番について意見があれば。

意見なし

## 5 その他

・次回の開催予定

日時 2月20日(木) 午前10時から

場所 城南公民館 多目的ホール

## 6 閉会